

# ぼれぼれ

通信



ここ神奈川4区から  
初の副大臣誕生！

9・10月号  
**vol.36**

この度の第二次安倍・第三次改造内閣の発足により、山本ともひろが防衛副大臣兼内閣府副大臣に任命され、ここ神奈川4区に初めて副大臣（認証官）が誕生した。読者にとても馴染みがないことかと思われるので、本紙では、その役割や意義などを簡単に説明

副大臣という役職は、平成11年の「国会審議の活性化及び政治主導の政策決定システムの確立に関する法律」（通称、国会審議活性化法）により新たに設けられた。従来、政治家は、大臣、あるいは政務次官として政府に入り、その職責を

したいと思う。

折しも政治改革が声高に叫ばれていた。大臣の下に政務次官と事務次官（官僚）があり、政務次官は大臣を政治的な面で支え、事務次官は中央省庁の官僚たちのトップに立ち、事務方として大臣を支える。これら両次官の立場は対等とされていた。しかし、実態としては、政務次官には、若手が政策の勉強をするために任命されることが多く、官僚たちは、大臣の指示には従うが、政務次官のそれに対しても、あまり機敏な反応を見せるることは無かつた。また、政務次官の権限は弱く、役割も明確ではなかつたために「省政府の盲腸」と揶揄されてきた。



## 副大臣（認証官） ～その役割と 意義について～

### 副大臣の役割とは 【政治主導】

折しも政治改革が声高に叫ば

れていた。大臣の下に政務次官と事務次官（官僚）があり、政務次官は大臣を政治的な面で支え、事務次官は中央省庁の官僚たちのトップに立ち、事務方として大臣を支える。これら両次官の立場は対等とされていた。しかし、実態としては、政務次官には、若手が政策の勉強をするために任命されることが多く、官僚たちは、大臣の指示には従うが、政務次官のそれに対しても、あまり機敏な反応を見せるることは無かつた。また、政務次官の権限は弱く、役割も明確ではなかつたために「省政府の盲腸」と揶揄されてきた。

れ、中央省庁再編などの改革がなされていた当時、「政治主導」か「官僚主導」か、という論点も俎上に載つた。結果として、政策決定過程システムを「政治主導」へと強化するためには政務次官を廃止し、副大臣と大臣政務官を新たに設けて適材適所の人材を登用することとなつた。また以前のような事務次官と対等という立場ではなく、大臣の下に副大臣、その下に大臣政務官、更にその下に事務次官という立場を与えたのである。加えて、法律上の根拠がないかった政務次官会議に代えて、法に基づいた副大臣会議を設け、実質的な省庁間の政策調整を行い、大臣政務官には特定分野の政策を担当する議員を起用することで、大臣、

副大臣、大臣政務官による「政治家チーム」の強化を図つたのである。

では、3年前に山本が務めていた大臣政務官と副大臣との違いは何か。大臣政務官は大臣の命を受け、特定の政策について大臣を助けるのに對し、副大臣は、同じく大臣の命を受けるが、その省庁の政策全般を司り大臣を助ける。また、大臣が不在の際は、副大臣がその職務を代行し、国會で答弁することもあるのに對し、大臣政務官にはそのような権限が与えられておらず、その省庁の特定分野の政策や企画に参加して、大臣を補佐することにその職責がある。また、他の大半の省庁には副大臣が複数名いるが、防衛省には副大臣が1名しかお

らず、山本は小野寺五典防衛大臣の職責を全てお支えしなければならないのだ。

加えて、大臣政務官は内閣が任命するのに対し、副大臣は、大臣と同様に天皇陛下から認証を受けて初めてその任に就くことが出来る。いわゆる認証官と呼ばれるものだ。従つて、山本も官邸から副大臣の内示こそ受けたが、先ずは、皇居、宮中に参内し、今上陛下から官記を挙受し、正式に防衛副大臣に任命された。その際に、陛下より直接「重任、ご苦労に思います」とのお言葉を賜り、「心の底から身の引き締まる思いがした」、とは山本の言である。また、就任時に山本は小野寺大臣から「私が不在の際は、一人しかいない副大臣の山本さ

んが私に成り代わつて防衛省・自衛隊という25万人の組織に指示を出す立場になるのです。宜しくお願ひします」と声を掛けられ職責の重要性を再認識した、とのことである。

### 防衛副大臣 重責と決意

山本が過去に務めた大臣政務官は、文科省、復興庁、内閣府（オリソノピック・パラソノピック担当）であったが、今回の決定的な違いは防衛省が危機管理省庁であるということである。そして、前述の通り防衛副大臣は一人しかおらず、緊急事態が発生した場合、速やかに官邸か防衛省に駆け付けなければならないのだ。なぜなら、緊急事態発生時には国家安全保障会議の4大臣会



合（総理、官房長官、外相、防衛相）が開催され、並行して防衛省においても関係幹部会議が実施されるからである。つまり、防衛大臣は4大臣会合のために官邸へ、防衛省での幹部会議には副大臣以下が対応することになる。万が一、出張などで大臣が不在の場合は、4大臣会合に副大臣が出席せねばならず、どち

りにしても副大臣である山本は速やかに官邸や本省に行かなければならぬ。仮に小野寺大臣が、海外出張や部隊視察などで東京を離れる場合は、必ず副大臣の山本が東京にいなくてはいけないのである。従つて、今まで以上に東京での仕事が増え、地元神奈川4区（栄区、鎌倉、逗子、葉山）に滞在できる時間に制約が掛かってくる。一政治家としては地元にいることが出来ないことは本当に心苦しいことではあるが、「仕事人内閣」と安倍総理が評した内閣の一員として精一杯仕事をすることで地元の皆様からの負託に応えると山本は決意を新たにしている。

※前号にて次号は、「今までに、ここにある危機～国外編」と予告しましたが、副大臣就任のため内容が変更いたしました。次号「国外編」となります。



山本がストレスオフ視点の新たな活動を開始する。  
そのリポートをこの特別秘書官  
ペンペンがお送りするぞ。  
みんな見てくれよ！

60代で3つの居場所を！

## 603運動開始！



神奈川4区がストレスオフ度において大変優秀な成績を修めたことは以前お伝えした。これを街づくりに生かしていくため、山本は神奈川4区のストレスオフなポイントを探るべく、「居場所」の関係に着目して調査をしていた。ちなみに、ここで言う「居場所」とは、家族や職場、友人関係など、自分が生き生きと過ごせるつながりのことだ。

退職などの転機を迎える60代を対象に調べると、低ストレス者の持つ居場所の数は平均して約3か所との結果が得られた。これは高ストレス者の約1.35か所に比べて2倍以上。つまり居場所の数はストレスオフに関係していると考えられるんだ。

神奈川4区は山と海を有し、自然豊かで伝統文化が多く残るなど、もともと交流が生まれやすい土地柄で、居場所づくりの素質がありそうだ。これは大きな強みだよな。

そこで山本は、60代で3つの居場所を持つ、という趣旨の活動「603運動」を行うことを考えたんだ。「居場所によるストレスオフ」を神奈川4区の特徴とともに、603運動を広めることによって街づくり、街のブランド化に貢献していくとのことだ。

次号以降、様々にリポートをお伝えしていくぞ！

楽しみに  
してくれ！！



## 駅頭活動報告



# 駅で「ぼれぼれ通信」をお配りしております 駅頭活動報告

今日も沢山の方から  
「副大臣おめでとう！」  
「頑張って！」  
「忙しそうだね」と  
声を掛けて頂き、感謝、感謝です。



朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

### 前回の「ぼれぼれ通信」配布数

7月・8月集計分

駅名	7月	枚数	8月	枚数	前月比
逗子駅	3日(月)	403	24日(木)	496	↑
新逗子駅	4日(火)	258	3日(木)	232	→
鎌倉駅(東口)	6日(木)	186	7日(月)	203	→
鎌倉駅(西口)	7日(金)	407	8日(火)	227	↓
大船駅(西口)	10日(月)	254	4日(金)	500	↑
大船駅(モノレール口)	11日(火)	341	9日(水)	395	↑
大船駅(東口)	12日(水)	221	25日(金)	358	↑
大船駅(笠間口)	13日(木)	147	21日(月)	446	↑
本郷台駅	14日(金)	204	22日(火)	458	↑
港南台駅	18日(火)	67	23日(水)	105	↑
7月配布合計	2,488		8月配布合計	3,420	↑

ちょっとした時間に見ていただけるような情報を皆様にお届けしております。  
見かけた際はぜひお手に取っていただければ幸いです。

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter、Facebookも本人がやっています  
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter  
@ty\_polepole



facebook  
facebook.com/ty.polepole

# ストレスの一つ、「時間が足りない」問題を考える

「時間が足りない」という状況は大きなストレスとなる。今日は、なぜ時間が足りなくなってしまうのか、時間の使い方に焦点を当てて分析した。

## 時間が足りない状況をつくっていること

順位	女性	%	順位	男性	%
1位	子どもの世話	58.8	1位	趣味を行っている	30.6
2位	家事をする	56.3	2位	子どもの世話	26.7
3位	毎日の献立を考えること	38.5	3位	家事をする	25.2
4位	ネットをダラダラ使う	36.1	4位	職場の残業が多い	23.1
⋮			⋮		

※メディプラス研究所調べ。ストレス指数チェックのデータを分析したもの。

この調査では、全国の男女二千二百人以上のデータを分析。すると女性の第1位は「子どもの世話」、男性は「趣味」に費やしているという結果となつた。男性も「子どもの世話」「家事をする」は上位には挙がるが、家事育児に関する項目が、女性はトップ10内に6項目だったのに対し、男性は3項目(男性のその他7項目は「仕事」や「自分」)にとどまるという差が、男性の家事育児への参加が少なく女性への負担を増やしていることは従来よりあちこちで指摘され

しかしここでは同時に、後々の男性の「居場所」の減少にも大きくかかる問題であることを指摘したい。仕事や自分のことだけに時間を取られるほど、男性の家庭内で役割が希薄になることが懸念される。逆に言えば、家庭内に夫や父親としての存在意義がしっかりと根付いていれば、男性にとっても安心できる場が確保され、ストレスオフに大きく貢献することになるのだ。退職を迎えるときになつて後悔しないためにも、時間の使い方は意識して変えていく必要がある。

## 山本ともひろプロフィール

### 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政經塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成24年 衆院選 2期目の当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年 衆院選 3期目の当選
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任

## 自由民主党 衆議院議員(3期 9年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
42歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会・防衛省見学ツアー実施中!!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



## ぼれぼれ通信って何?



「ぼれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

### 本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

### 国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成29年(2017年)9月1日発行 第36号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぼれぼれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

\*本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。